

校長室だより

第十二号

岡崎市立常磐小学校
令和二年七月三十日

せおと

・浅い川の流れが立てる水の音



通学路が一部変わります

朝、目が覚めるとミンミンミンと、うるさいほどの蝉の声に、きつと梅雨明けが間近だなと感じました。と同時に、蝉にとつて地上での短い生命を力の限り燃やしているようにも感じました。現在、新型コロナウイルスの感染が再び広がってきて、岡崎市の警戒レベルが「4」とされたため、学校でも子供たちに今一度、コロナ対策への注意を呼び掛けたところです。蝉の大合唱を聞きながら、大きな声での挨拶や元気な合唱の声を聞ける日が、待ち遠しくてたまらなくなりました。

さて、気を付けなければならないのは、感染症だけではなく、熱中症、交通事故、水の事故、自然災害等々、最近では、岡崎市内において、不審者情報が相次いでいます。登下校や下校後の外出の際には、できる限り一人にならないようにするなど、身を守ることを心掛けてください。

学校では登下校の安全について、通学路の変更を検討してまいりました。それは、滝団地北の交差点から仁王橋の経路です。詳細については、別紙のお知らせをご覧ください。

変更にあたって、交差点を通過する通学班三十二名の班長さん

から意見を聞きました。ほとんどの班長が、変更後の通学路の方が、今より安全ではないかという立場でした。現在の通学路の問題点も変更後の通学路の問題点も確認したうえで、新通学路における注意点を考えて出し合いました。

- ・信号を渡った後、ガードレールがなくなる場所がある。
- ・歩道が狭くなる場所があるので、押し合わないようにする。

- ・自転車が走ってくる時はよける。
- ・すれ違う人に、道をゆずったほうが良いと思う。

- ・コンクリートの段の上（縁石）に乗るなどしてふざけない。

子供たちなりに、真剣に考える姿には、班長としての自覚や責任も感じられ、なんと頼もしい班長さんたちだと感じました。来週八月三日（月）から、新しい通学路を通過して登下校することになります。班長さんだけでなく、一人一人が気を付けて安全に通学できるようにしていきましょう。

最後に一句

コロナ禍に翅すりあわせ生きる蝉

セミにマスクはいらないと思ったら、うらやましくなった。

ただただ生きるセミの力強さにあっぱれ！



☆ときわマスター推薦書（すいせんしよ）を明日配ります。

自分で自分を、すいせんしてかまいません。書けたら、あのねBOXに入れるか、担任の先生に渡してください。



【新通学路となる歩道】